

第5回 奈良まほろばソムリエ検定試験

問題用紙

奈良まほろばソムリエ

(午後2時開始 制限時間90分)

注意事項

1. マークシートへの記入にあたっては、硬度 HB または、B の黒鉛筆を使用してください。(ボールペンは使用不可)
2. 誤ってマークしたときは、跡の残らないようにプラスチック消しゴムで消してください。
3. マークシートの解答欄は、各問題につき1つのみ解答してください。
4. マークシートは直接コンピュータで読み取りますので、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。
5. 記述式問題の解答用紙への記入にあたっては、解答用紙の表面に記載されている注意事項をよく読んでください。
6. 記述式問題の解答用紙にも受験番号・氏名の記入欄がありますので必ず記入してください。
7. 点数は100点をもって満点とし、問Ⅰが60点(30問で各2点)、問Ⅱが20点(2問で各10点)、問Ⅲが20点(1問で20点)の配点となります。

(平成23年1月9日)

奈良商工会議所

．次の問題について、最も適当なものを選びなさい。

- (1) 奈良盆地に流れ込んでいない川はどれか。
ア．能登川 イ．布留川 ウ．曾我川 エ．宇智川
- (2) 国指定の天然記念物のうち特別天然記念物に指定されているのはどれか。
ア．シシンラン群落 イ．奈良のシカ
ウ．春日山原始林 エ．ルーミスシジミ棲息地
- (3) 奈良県の花はナラノヤエザクラ、奈良県の木はスギであるが、奈良県の鳥はどれか。
ア．カワセミ イ．アオゲラ ウ．ミソサザイ エ．コマドリ
- (4) 『大和名所図会』などにも紹介された南都八景の組み合わせには無いものはどれか。
ア．東大寺 鐘 イ．春日社 藤
ウ．三笠山 雪 エ．佐保川 蛭
- (5) 吉野町の桜本坊境内にある枝垂れ桜は「夢見の桜」と言われるが、その故事にまつわる人物は誰か。
ア．天武天皇 イ．後醍醐天皇 ウ．豊臣秀吉 エ．源義経
- (6) 奈良時代から平安時代にかけての歴史の説明文のうち、誤っているものはどれか。
ア．権力の中枢にいた道鏡は失脚し、故郷の河内で亡くなった。
イ．称徳天皇は紀伊国へ行幸する途中、飛鳥小治田宮に立ち寄った。
ウ．藤原仲麻呂（恵美押勝）は謀反を起こしたが、近江で敗死した。
エ．平城上皇は平城旧京に戻ったが、政権奪回には至らなかった。
- (7) 平安時代末期、大和守に任命されたが、興福寺の圧力によって土佐へ配流された武将は誰か。
ア．源頼光 イ．源義経 ウ．源義仲 エ．源頼親
- (8) 「藤原京」の命名者である学者は誰か。
ア．岸熊吉 イ．関野貞 ウ．喜田貞吉 エ．濱田耕作
- (9) 吉野の宮滝遺跡についての説明文のうち、誤った記述を含むものはどれか。
ア．天武・持統朝と聖武朝の吉野離宮に比定されている。
イ．平安時代の祭祀場の遺跡である。
ウ．縄文・弥生時代から古代にかけての複合遺跡である。
エ．吉野川右岸の河岸段丘の上にある。
- (10) かつて聖武陵と光明陵への奉仕をつかさどっていた寺はどれか。
ア．不退寺 イ．海龍王寺 ウ．眉間寺 エ．興福院
- (11) 天理市内にあり、後漢王朝の年号である「中平」の紀年銘をもつ大刀が出土した古墳はどれか。
ア．東大寺山古墳 イ．別所大塚古墳 ウ．ウワナリ古墳 エ．東乗鞍古墳

- (12) 中世以降に「四聖建立の寺」とも称されるようになった寺院はどれか。
ア．興福寺 イ．薬師寺 ウ．西大寺 エ．東大寺
- (13) 紀氏の氏寺として栄えたといわれ、白色裸形の秘仏である阿弥陀如来立像をまつる寺院はどれか。
ア．伝香寺 イ．璉城寺 ウ．称名寺 エ．高林寺
- (14) 室生寺についての説明文のうち、誤っているのはどれか。
ア．元禄11年(1698)に桂昌院が新義真言宗豊山派の道場とした。
イ．金堂の板壁に描かれた伝帝釈天曼荼羅は国宝に指定されている。
ウ．寺宝の銅版法華説相図と法華経28巻は国宝に指定されている。
エ．龍穴神社の神宮寺として開かれたという説がある。
- (15) 長岳寺に収蔵される「大地獄絵」は誰の筆によるものか。
ア．狩野山楽 イ．狩野山雪 ウ．狩野永徳 エ．狩野元信
- (16) 聖林寺にまつられる国宝の十一面観音立像は、どの造像法によって制作されたものか。
ア．塑造 イ．乾漆造 ウ．木造 エ．銅造
- (17) 旧一乗院宸殿の遺構を移築復元した建物はどれか。
ア．興福院客殿 イ．唐招提寺御影堂 ウ．岡寺書院 エ．當麻寺奥院方丈
- (18) 明治41年(1908)に奈良公園内に建築された旧奈良県立図書館は、移築されて何の施設として利用されているか。
ア．橿原市今井町町並み交流センター イ．大和郡山市民会館
ウ．奈良国立博物館附属仏教美術センター エ．奈良国立博物館本館
- (19) 現在、八ギの名所として有名な寺を含む一帯は、『万葉集』に「をみなへし 秋萩凌ぎさ牡鹿の露分け鳴かむ()の野そ」(巻20-4297)と詠まれている。それはどこか。
ア．斑鳩 イ．春日野 ウ．山の辺 エ．高円
- (20) 古典文学と奈良との関りについての説明文のうち、誤っているのはどれか。
ア．『義経記』には源義経と静御前との吉野の別れが描かれている。
イ．『平家物語』には平重衡による南都焼討ちの様子が描かれている。
ウ．『太平記』には奥吉野に拠った後南朝の攻防が描かれている。
エ．藤原道綱の母が著わした『蜻蛉日記』には長谷寺参詣が描かれている。
- (21) 大正時代に帝室博物館総長兼図書頭として奈良を訪れた文学者は誰か。
ア．森鷗外 イ．正岡子規 ウ．坪内逍遙 エ．堀辰雄

. 次の中からテーマを2つ選び、それぞれについての解説文を別紙の解答欄に200字以内で書きなさい。尚、選択したテーマの番号を解答欄左上の所定欄に記入すること。

(各10点)

- (1) 大和高原について
- (2) 平城宮第一次大極殿について
- (3) 西大寺について
- (4) 橿原市今井町の伝統的建造物群保存地区について
- (5) 川路聖謨の「植桜楓之碑」について

- ・次の中から1つ選び、その場所を含む1日の見学コースを想定したのち、同伴者を楽しませ、奈良の文化遺産や自然遺産に興味をもたせるには、どのように案内すればよいかを考え、自分なりの見学計画を400字以内で書きなさい。

尚、選択した番号を解答欄左上の所定欄に記入すること。また、行程ならびに本文の記述にあたっては、下記の条件を参照すること。

(20点)

- (1) 奈良町(奈良市)
- (2) 都祁水分神社(奈良市)
- (3) 烏土塚古墳(平群町)
- (4) 安倍文殊院(桜井市)
- (5) 新町(五條市)

【記述の条件】

- ・主な見学地を訪れる順番にそって行程を設定し、枠内に記入しなさい。
なお、行程は〔 ~ ~ ... 〕という書き方で列記すること。
- ・見学地の数は自由とします。
- ・見学の集合・解散場所(鉄道の駅や路線バス乗り場など)を想定する必要があるが、行程の欄や本文の中にあえて入れる必要はありません。
- ・見学地間の移動手段は徒歩を基本としますが、路線バス・鉄道・自動車などを利用して構いません。

